

## **第 9 章**

### **外部資金への申請と採択状況**



インフラ長寿命化センターは、“人”、“もの”、“場所”、“お金”もないバーチャルなセンターを有効活用し、外部資金等を獲得して、実質的な工学部センターとして機能させたいという趣旨で設立が認められた。したがって、インフラ長寿命化センターの兼務教員には、科学研究費やその他の競争的外部資金の獲得に向けて応募するようにお願いしている。以下に、本センター兼務教員の競争的外部資金の獲得状況について記載する。

### 9.1 科学研究費補助金採択（インフラ長寿命化センター兼務教員）

種 目	期 間	研 究 課 題 名	H30 年度 交付金額 (千円)	研究代表者
基盤 B	継続 26～30 年	結晶組織と伸び性能による高張力鋼の疲労亀裂伝播特性の革新的向上に関する研究	1,040	勝田 順一
	継続 27～30 年	有用微生物を用いた新たな地盤環境改善技術と国土保全への新展開	3,510	大嶺 聖
	継続 29～31 年	光学的計測法を用いた仮設足場を用いない効率的・低コストな橋梁健全度診断手法の開発	3,770	松田 浩
	継続 29～31 年	流体移動過程の可視化を活用した岩盤内三次元き裂ネットワーク水理物質移動特性の評価	8,230	蔣 宇静
	新規 30～32 年	自立飛行型斜張橋ケーブル点検ロボットシステムの開発	4,550	中村 聖三
	新規 30～33 年	持続的なまちづくりの視点からみた負の現地遺構の保存活用に関する研究	5,980	安武 敦子
基盤 C	継続 28～30 年	き裂の 3 次元制御進展による超高強度平滑面の創成	910	才本 明秀
	継続 28～30 年	湿潤汚損面における局部放電の放電形態と発光スペクトルおよび電流との関係	260	山下 敬彦
	継続 29～31 年	生コン配合比検査およびコンクリートの比誘電率測定と高精度鉄筋探査に関する研究	1,560	田中 俊幸
	新規 30～32 年	高精度化を図った血管検出用電波型腹腔鏡アンテナシステムの実スケールモデルの開発	2,990	藤本 孝文
	新規 30～32 年	橋梁狭隘箇所の変状認識を目的とする GNSS を援用した UAV 自律航行システムの開発	2,600	奥松 俊博
	新規 30～32 年	せん断破壊するコンクリート充填鋼管柱の繰返し水平加力下における構造性能	2,080	中原 浩之
若手 B	継続 29～31 年	斜面崩壊危険性評価のための無線センサネットワークシステムによる多点計測手法の開発	1,560	杉本 知史
研究活動 スタート 支援	継続 29～30 年	熊本地震で被災した補強が施されていた RC 部材の光学的計測法による再劣化機構の解明	1,560	山口 浩平

特別研究員奨励費 (外国人)	継続 29～31年	岩盤内水理物質移行機構の解明に基づく放射性廃棄物地層貯留安全性の評価	1,100	蔣 宇静
-------------------	--------------	------------------------------------	-------	------

## 9.2 インフラ長寿命化センター関連の事業・研究に関する外部資金

種 目	契約相手	研 究 課 題 名	金額 (千円)	代表者
受託研究	国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)	インフラ維持管理に向けた革新的先端技術の社会実装の研究開発 (SIP)	30,000	松田 浩
受託事業	長崎市	長崎市土木技術職員等研修業務委託	1,193	松田 浩
	長崎県建設技術研究センター	道守補助員研修	596	松田 浩
	長崎県	道守育成支援業務委託	732	松田 浩
寄付金	上田記念財団	長崎大学道守養成講座「道守補コース」と「特定道守コース」の開催助成のため	2,000	松田 浩

## 9.3 その他の兼務教職員の外部資金

受託研究、共同研究、委任経理金の件数と金額の一覧を示す。

(H31.2.21 現在)

事 項	平成 30 年度	
	件数	金額(千円)
受 託 研 究	10 件	53,836 千円
共 同 研 究	4 件	3,072 千円
委任経理金	34 件	23,870 千円